

保安力セミナー

『実践「保安力評価」の基礎と進め方を学ぶ』

～化学プラントの危険を回避するために何が必要か～

主催 化学工業日報社／安全工学会・保安力向上センター

「保安力評価」とは、化学産業の安全に関する要素を分析し、現場を中心とした安全な生産の仕組みとそれを支える安全文化を体系化したものです。今回のセミナーでは、事業者が自主的に安全基盤と安全文化を評価し、長所短所を明確化することで改善を推進する「保安力評価」の基礎と実践を習得するために企画しました。多くの方々のご参加をお待ちしております。

※安全基盤…事業所を安全に運営するための管理の仕組みです。生産現場の運転。保全、工事を中核とした基本 10 項目をさらに 103 の項目に分類し、評価します。

※安全文化…経営幹部から現場作業員まで、従事者すべてが安全を最優先する意識を共有し、安全基盤や安全活動を支える取り組みです。作業管理、危機認識など基本 8 項目を 79 の小項目に分類して定量評価するとともに、階層や年代別の聞き取り調査も加えて組織および事業所の実態を洗い出します。

〈講師とテーマ〉

第1講(13:00～14:00)

『保安力評価の背景と概要』

独立行政法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門／保安力向上センター センター長 若倉 正英 氏

第2講(14:05～15:05)

『安全基盤評価の実際』

元 出光興産株式会社／保安力向上センター 事務長 紙本 孝雄 氏

《コーヒープレイク(15:05～15:15)》

第3講(15:15～16:15)

『安全文化評価の実際』

慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科／保安力向上センター 評価委員 東瀬 朗 氏
Q&A(16:15～16:30)

■開催要項

【日時】2014年9月11日(木) 13:00～16:30

【会場】ホテルフロラシオン青山 2階『芙蓉西』(東京都港区南青山4-17-58)

【受講料】1 名につき22,857円＋税

【お申し込み先】

化学工業日報社 企画局

〒103-8485 東京都中央区日本橋浜町 3-16-8

TEL:03-3663-7936

FAX:03-3663-7861 <http://www.chemicaldaily.co.jp/seminar/seminar.html>